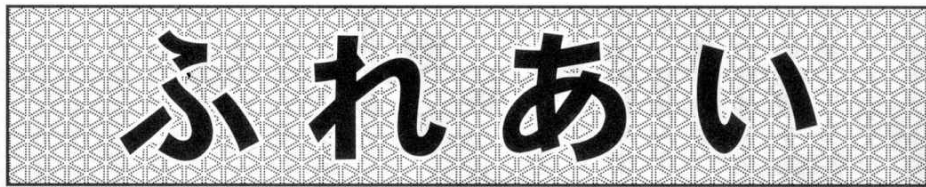


下紺屋町分館報

発行所／下紺屋町分館
責任者／塚田博己



幸せな明るい人生 !!

町民は共に生きよう

ふれあい健康人生 !!

笑顔であいさつやさしい町



絆

第12回ファミリィ
ビーチボール大会 二連覇
第18回ビーチボール大会 優勝
第1回ペタンク大会 第三位



一年を振りかえって

自治会長 腰原一文

自治会長職を賜って早五年を迎えようとしています。そしていつも感じるのは皆様方の自治会に対する期待や思いが大きい事です。身近な事から、町全体に関する事まで、たくさんの方の意見が寄せられています。それも建設的な意見が圧倒的です。

皆様方のこのような意見に對しまして百パーセント満足のいく回答ができたでしょうか。自治会長職の中には、「雑用職」の側面がありますが、これも重要だと考えています。あまり崇高な事ばかり言っても、皆様方と乖離してしまう独りよがり

な自治会運営になってしまいます。しかし、追従してばかりでは、これまた自治会運営上、支障をきたすのは目に見えており、その点は兼ね合いが重要だと思えます。

今年、自治会長職が一番長いという理由だけで、「西部自治会連合会会長」という非常に重い役を担がされてしまいました。そのような器ではない」と断ったにも関わらず。

案の定、仕事が増えました。特に、昼間の会議が多くなり、「夜男」を返上しなければならなくなりました。現在、西部地区が抱えて



分館活動を顧みて

分館長 塚田博己

前分館長より引き継ぎ、早一年が過ぎました。当初今年の目標を設定して活動をしてきました。

①マンネリ化防止(自分の町の文化に親しみ歴史を大切に)

②町民参加を図る(町民スポーツ大会、親睦会開催)

③下紺祭開催(文化祭のかわりに、地産地消の農産物販売、PTAのバザー、町民の文化・芸術品の展示会) 文化財については、八幡神社の改修に伴い、パンフ

レット用に縁起解説書を作成し、神社での勉強会を開催できたのはよかったのではないかと思います。

西部公民館主催の各種スポーツ大会においては、若いスタッフ、PTAの方々の活躍で、各種目とも好成績を残し、二階陳列棚狭しと並べられています。

約一年を顧みると、大樹会の皆さん、西小児童によるボランティア清掃・奉仕活動等多くの方々に支えられ住みよい街がつけられて

いる諸課題、特に西部公民館建て替え問題では、先頭に立って旗振り役を担っています。

最後にこの一年を振り返ってみますと、充実した一年だったといえます。

また、この五年、皆様方の支援、声援がなければ続けてこれなかったと思います。大変ありがとうございました。よいお年をお迎えください。



いる事が良く分かり、感謝に堪えません。また、人権懇談会を春と秋に開催し、多くの参加者を得たこと、青少年育成懇談会を開催できた事に感謝申し上げます。最後に、今年文化部がなくなってしまう残念でしたが、今後各種多様な要望を基に各種同好会等を作ればと思います。多くの方の参加とご協力を宜しくお願い申し上げます。



新たな取り組みに思う

分館主事 丸尾 信夫

長年お世話になったゼッケンの老朽化に伴い作成したTシャツ。そんな簡単な理由だけでは片付けられない「思い」がある。

伝統を尊重し地域住民が強い絆で結ばれている。その根底にある「下紺魂」。

それを中心としてすべての社会体育事業がつながっている。これからも継承していきたい。

文化祭が「下紺祭」として生まれ変わった。農産物の販売とバザーを組み

文化祭が「下紺祭」として生まれ変わった。農産物の販売とバザーを組み

地域に見守り続けられて...

西小PTA下紺屋町 支部長 徳田 直子

「よーいどん!!」ポックリ、ポックリ...これは子供達が毎年楽しみにしている、夏休み中のお楽しみ会の様子です。今年も段ボールの特性を生かしてポックリの作成をしました。大人が乗ってもビクともしない、とても頑丈な物が出来上がりました!! そこに至るまでに、大量の段ボールを集めたりなどの準備もありました。当日の分館、自治会の方々には、段ボールを細く切ったり、上手に作れない子には、ご指導頂いたお陰で無事に完成しました。また同時に大樹会の方々には七夕飾りの作り方をご指導頂き、とても立派な物が



出来上がりしました。この行事に限らず、いつでも下紺屋町の子供達は地域の皆様に見守られ、時には叱って頂きながら成長しています。これは他の地区よりも行事数が多く、地域の方々も触れ合う機会の多い下紺屋町ならではの素晴らしい点だと、役員の仕事を通じて痛感しています。



善行表彰受賞

子供育成会会長 児玉 嗣夫

本年度の活動も残り僅かとなりました。

4月から始まりました西部公民館主催の各種スポーツ大会、自治会・分館・PTA行事と幅広く子供達が参加し、たくさんのお出でが出来たことと思います。平成16年度から、上田市教育委員会では、子供達を対象に善行表彰を実施しています。「御礼」・「見返りを求めない」ことを前提に良い行いをした子供達を表彰するというものです。この度、下紺屋町の子供達を申請しました。内容は、下紺屋町の諸先輩方から受け継がれている八幡神社及び北部児童公園の清掃活動です。確認した結果、少なくとも昭和六十二年度より行われています。二十五年間受け継がれていることになり本当に大変な事だと思いい申請をしました。結果は表彰対象となり12月8日の表彰式に参加して

ラジオ体操

六年 工藤 弦

ラジオ体操のある日は、学校がある時よりも早く起きなければなりません。僕は朝早く起きるのが苦手です。「せっかくの夏休みなんだからもう少し寝ていたい」そう思うことも少しはあります。でも、眠いのをこらえ、顔を洗うと、「さあ、出かけよう!」という気持ちになります。八幡神社に行くまでの間、ふだん学校へ行くのとは別の風景を見ることが出来ます。朝早くから働いている人、かんきせんからは朝ご

ファミリービーチボール

六年 萩原 有彩

私は、三年生で初めてファミリービーチボール大会に出ました。私はビーチボールのことをよく知りませんでした。でも、その時の六年生がやさしくおしえてくれました。今年、私が六年生。最後だと思おうと気が入りました。去年は優勝しているの、今年も絶対優勝したいです。



はんにおいがします。いつも顔を合わせるのとは別の人たちとすれ違っています。八幡に着くと、友だちがいます。朝が早いからなのか、眠そうな顔をしています。お父さん、お母さんたちも、毎日一緒にやっています。体操が終わると、カードにはんこを押してもらいます。数が増えていくたびに充実した気持ちでいっぱいになります。夏休みのラジオ体操は、僕の頑張った思い出です。



対優勝だと思いました。練習が始まり、中学生が打ったボールを打ちかえしたり、チームごとに試合もしました。いよいよ大会当日。わくわくしてきました。自分の試合がない時は、声がかかる程、他のチームの応援をしました。しばらくしたら私たちの出番がきて、少し緊張してきました。一回戦は負けてしまいました。二回戦は、アタックをたくさんして点を入れました。みんなのがんばりで、下紺は見事優勝しました。一日ワクワク、ドキドキ、悔しい思いもしたけど、とても楽しかったです。小学校最後の大会、良い思い出になりました。

巴会

会長 佐藤 好彦

伝統の継承と御輿の担ぎ手の確保を目的に発足した当会も、今年で発足十四年を迎え会員数70名を数えるまでになりました。しかし会員の高齢化に伴い年々自治会員だけでは御輿の運行が困難となり、昨今は外部から多くの応援を頂いているのが現状です。

また、子供御輿はより深刻で、子供の絶対数不足から大人の応援が不可欠で、その大人もPTA役員のお母さんを中心とする一部の方に限られています。御輿に限らず自治会の活動は一部の役員だけでは存続し



せん。より多くの皆様（特にPTAのお父さん）のご参加が望まれます。

せつかく町内に残る伝統文化を子供達の未来に残すと共に町内活性化を図りたく、当会では新しく町内にお住まいの方、他県より町内に戻って来られた方等の新規会員を募集し継続的に活動して参ります。次年度も皆様の変わらぬご支援をお願い致します。

民生委員

吉澤てる子

民生委員にたづさわって二年が過ぎようとしていますが。昨年は何も分からず手さぐりの毎日でした。

見守り活動の一環としてフーマーさんと乳酸飲料をお届けしておりますが、経験豊かな方々のお話を伺っていると勉強になると同時に、知恵とパワーを自治会活動にもいただけたらと思います。誰も緊急時には人の手を借りずに生きることができません。高齢者の自立を支え、見守ってくれる地域であってほしい。お隣り、ご近所の助け合う絆。支援が必要な人ほど、どこに助けを求めてよいのかわからずにいる現実があります。様々な問題について相談していただければ関係機関へのつなぎ役としてお役に立てると思えますのでよろしくお願い致します。

女性学級の活動について

青嶋 玲子

現在、女性学級は12名くらいで活動しております。年度始めに、全員で意見を出し合い、年間計画を立てます。計画によって外部から講師を招いたり、外部の施設を利用したり、又は会員同志で教え合ったりと毎日変化に富んだ活動を、楽しみに、和気合々としております。



高田寛子先生をお迎えして

育成指導員 関口 泰彦

5月16日、「今が、大事！心と体を育む食事・免疫力を高める食事の重要性」と題して、食の知識を持つということが、人が健全に生きていくうえで如何に必要かを学ぶ懇談会を開催いたしました。この世に生を受けてからの脳及び神経等々がどのようにに発育し、発達していくか、又、「バランスのとれた食事」に心がける。塩分の取りすぎに注意すること。よく噛んで食べること。など、当たり前の事であり



奉仕活動で 思いつ事

三中PTA支部長 田口 勢津子



ながら、なかなか実践し難い「ガン」や「成人病」を予防する食事のとり方などを、先生のユーモアに富んだお話や手作りのイラストや模型を使い、子供達も嬉々として先生のお手伝いをしながら、終始和やかに、楽しい雰囲気での食の大切さを学ぶ事が出来ました。



夏休み初日、毎年恒例の町内清掃を行いました。部活、高校の体験入学と重なっていた事もあり、正直出席率は低いだろうと思っておりました。しかし、そんな忙しい中でも全員参加での活動を行う事ができました。小学校のPTA活動が多いといわれている我が町、下紺ですが、その時生まれながら、こうして中学生になっても、町内の皆様に感謝の意を持って活動ができることにつながると思っています。思春期と言われる中の子供達の真剣にゴミ拾いの姿に脱帽でした。そんな子供達が拾ってきたゴミの中には、たばこのすいがらや缶コーヒの空き缶など……明らかに大人の出した物の多い事にビックリです。この活動をきっかけに、子供達だけでなく私達大人も、ゴミに対するマナーについて意識を高めていかなければと思えました。最後にになりましたが、エコキャップ回収にも多くの皆様方にご協力頂きありがとうございます。今後とも宜しくお願い致します。



人権同和教育 推進委員

菊池武則

難しい問題に携わる事になり、今さらながら大変な思いをしております。

身近で、どこにでも、ありそうな、これってセクハラ？、部落史について「わかりやすい、身近な人権」として、東信教育主事の白鳥貴文先生に講演をしていただきました。今と昔を比べてみました。自分が子供だった頃と、自分が親となった今、同じではない事に考えさせられました。

後期人権は、西小学校の柴田隆一校長先生を講師にお迎えし、講演していただきました。全員で合唱して始まり、年長者、仲間へ、「敬意」を持って接する事の大切さを！……

家庭・地域の役割。学校との関わり方について「いじめ」をテーマに、楽しく、わかりやすく、話していただきました。

夫婦、家族に対する敬意の大切さ！…子供には愛情を持って育ててほしい！

今後、講演会などについてお考えがありましたら、お声を掛けて下さい。



健康ウォーキング

大樹会長 中沢 良精

日本で老人福祉法が制定された一九六三年、百歳を超える人は一五三人に過ぎません。それが昨年は四万七七五六人になったそうです。

健康づくりに効果があるといわれるウォーキングを大樹会として取り組むことにしました。コースは、「下紺公会堂→矢出沢川沿いに遊歩道を下る→向源寺→芳泉寺→歴史の散歩道→上田城趾公園→下紺公会堂」

7月10日に役員有志十数名で下見がてら実施しました。

世間話等しながらのウォーキングは、心もうちとけて仲良くなれ意義深いものでもあります。

ただ、参加者の歩く速さや体力が異なっているため、楽しく行こうためにはどんなふうにしていくのがよいか、検討しながら実施することが肝要かと思いました。「健康のための運動」が「不健康」を招くことのないように十分気をつけて行きたいと思えます。

下紺 ゴルフ同好会

池田 竹男

青年から、八十才を過ぎた、元「青年」、女性も含め年齢にとらわれず同じフィールドでプレーが出来る。

力量や年齢、又女性に与えられる距離等のハンディにより、参加者が、概ね同じ条件にてプレー出来る。ことがゴルフの魅力です。又同伴競技者とプレーの反省、時には家庭の話や、世相等、親睦ゴルフ会は、和気藹々で一日楽しくやっております。

他にも静止しているボールを打つ競技がありますが、共通していることは、ミスをする、平常心を見失い悪い結果が待ち受けていることです。しかし、表彰親睦会になると、不思議なもので、優勝者以外の人は、ミスした数が多いのに、少しのナイスショット、ナイスパットの話が出ると、又お酒が、一杯余分にはいりません。

気楽に参加して楽しい一日を過しませんか。

◆ 申込先 ◆

会長 太田 23 1 4 3 0
会計 石巻 23 6 6 4 1



下紺ビーチボール同好会

荒井 久実子

皆さんは、ビーチボールをご存じですか。バトミントンのコートを使い、1チーム4人で、バレーボールをします。1セット、9点取得で3セットマッチです。ネットの高さは、180センチで、だれでも気持ちよくスパイクが打てます。なんといっても、ビーチボールを使うのが特長です。ボールが、柔らかいので突き指の心配がありません。

ファミリービーチボール大会や、西部公民館ビーチボール大会には、会員も多く参加します。今年度は、どちらの大会も優勝しました。今まで、大会に参加した事がない方も、ぜひ一緒にやってみませんか。

毎週、土曜日の夜に、西小体育館で練習しています。和気あいあいと、とても楽しい時間です。

近年、会員の平均年齢が上がっておりますが、年に関係なくできるスポーツです。興味、少しでもある方は、ぜひ一度練習に来て下さい。一度やったら、病み付になりますよ。



一年を振り返って

ソフトボール同好会

堀江 弘隆

下紺屋町ソフトボール同好会は、西部地区各自治会で構成されている11チーム間で、5月～8月までのリーグ戦と、10月のトーナメント戦を楽しんでいます。今年度は、リーグ戦は6勝4負の6位、トーナメント戦は準優勝という成績でした。

私は、平成六年にこの町に引越し、平成九年ソフトボール同好会に入会。十五年間ソフトボールを楽しんできました。引越してきたときは、近所に知り合いもいなかったのですが、この会に入会しいろいろな方々と出会い、ともにソフトボールを楽しみ、そして多くの仲間を得ることができました。今、この会は三十三才～六十四才の幅広い年齢層で構成された32名で運営されています。三十三才の若者と六十四才のちよっとお歳を召した方が同じチームで戦い、お互いに激励し合い、「勝った、負けた」



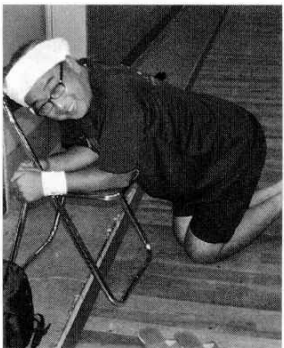
http://www.shimokon.net/
メール: info@shimokon.net
信州上田下紺ネット 下紺屋町商工振興会

◆ 編集後記 ◆

本年も分館報作成まで無事に終了しました。これも皆様のお陰と感謝いたします。合わせて分館報に寄稿して頂いた皆様、下紺祭に出品して頂いた皆様にお礼を申し上げます。

最後に年末年始の飲みすぎには注意しましょう。

田口 賢司



年中行事の1コマ

